

No.	質 問	回 答
1	<p>下水道整備工事について公共下水道接続可能場所として、添付資料①と②の2ヶ所に接続するようとのことですが、当該地内の排水を処理する能力が不足しています。</p> <p>御市の下水道流量計算表には当該敷地が含まれた流量計算書になっていますが、その計算書では地盤高動水位の計算手法が取り入れられています。今回の開発計画に於いて同様の計算手法を取り入れて計画を行っても良いのでしょうか？</p>	<p>堺市下水道事業計画にて、当該地域の流量計算では、流出係数0.70を使用して管能力計算を行っており、「堺市宅地開発等に関する指導基準」と同様です。管能力以上の流量がある場合は、動水位の検討を行い、地盤高－動水位>0を満足する計画となっています。</p> <p>今回の開発においても開発区域外の既設管については同様の計算手法で行っていただいて差し支えありません。</p> <p>ただし、開発区域内については、「堺市宅地開発等に関する指導基準」に準拠して計画してください。</p>
2	<p>公開図書にて閲覧しました12.埋設物撤去工事完了後参考図の断面に記載されているレベルについて、南側境界部分、特に南東側端の現況レベルはもっと低い位置にあるように見えるのですが、どのレベルを基に計画すれば宜しいでしょうか？</p>	<p>売却予定地においては、現在、浅香山浄水場跡地埋設物撤去工事を施工中であり、施工後の最終的な南側境界部分及び南東側端の地盤高さについては、当該埋設物撤去工事による発生土を敷き均すことで、現況レベルより高くなる予定です。</p> <p>開発の計画については、12.埋設物撤去工事完了後参考図をもとに計画していただいて差し支えありません。</p>